

教育目標

自律

自己理解を深め、自らの言動に責任を持ち、変化の激しい社会を柔軟かつ主体的に生き抜く力を培う。

協働

多様な価値観や人権を尊重し、他者との対話を通して社会に貢献していく力を養う。

創造

幅広い知識や教養、論理的思考力を基盤に、探究の意欲を持ち続け、新たな価値を創出する力を育む。



<育てたい生徒像>

「世界をつなぐ越境者 ～Beyond the hill today, Beyond yourself tomorrow～」

経営の基本方針

生徒・教職員の命と健康を守りながら豊かな学びを実現する

- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて十分な対策を講じながら、創意工夫して教育活動を展開する。
- ・対面だけでなく、ICTを活用したりリモートでの活動も効果的に取り入れ、教育活動の目標を達成する。
- ・全ての取組に対して、かかる労力と効果を検証する「働き方改革」の視点から見直しや改善を図る。

育てようとする資質・能力に根差した授業改善を推進する

- ・「世界をつなぐ越境者」に必要な力「HIYOSeven」を育成するための授業改善を、全ての教科で行う。
- ・「総合的な探究の時間」において育成する主体性や探究のアプローチを、教科や特別活動に連関させ、生徒のキャリア形成につなげる。
- ・ICTを活用して主体的な学びや協働的な学びを実現し、振り返りを通して学びを深める。
- ・新学習指導要領の3観点の評価について、各教科で研究を深め、指導と評価の一体化を一層推進する。

学力の3要素の伸長と個に応じた学びで進路希望を実現する

- ・学力の3要素を多面的・総合的に評価する選抜に向けて全校体制で指導し、進路希望の実現を図る。
- ・3年間の計画に基づくキャリア教育を推進し、学力到達目標を設定して授業や進路指導を行う。
- ・ICTを活用したオンライン教材と到達度テストにより個別最適化された学びを実現し、学力を向上させる。
- ・振り返りと見直しを通して学びをセルフマネジメントできる力を育む学校設定教科「越境」について研究を深め、実施体制を構築する。

主体性・発信力を育む「国際教育」を推進する

- ・日本や京都の伝統・文化や優れた科学技術について理解を深め、自己を確立した上で、自分の考えや意見を発信したり行動したりできる力を育成する。
- ・HELLO Village（英語村）を英語教育の場にとどまらない学びのプラットフォームとし、主体性や発信力を育成する。
- ・全体計画に基づき、生徒の主体性や創造性を育成する観点で特別活動を充実する。
- ・部活動について、生徒の主体性を育む活動として充実を図り、学校教育全般の活性化につなげる。